

### 1 現状と課題

#### [現 状]

- 官民一体となった「水産インフラ輸出構想<sup>※</sup>研究会」の立ち上げ及び「水産インフラ輸出構想」の策定（平成 28 年（2016 年）10 月）

**構想の概要** 漁獲、加工など一連の水産関連企業の立地がある本県の強みを活かし、漁獲から流通に至る一連の鮮度管理システムの導入に高いニーズがあるベトナム等アセアン地域に対して、パッケージでインフラ輸出を行い、関連企業の業績拡大を通じた県経済の活性化を図る。

- ベトナム国キエンザン省<sup>※</sup>における一連の水産物の鮮度管理システム導入に係る取組の推進に関する覚書の締結（平成 29 年（2017 年）5 月）
- 構想の具現化に向けた事業実施可能性調査の実施（平成 29 年（2017 年）8 月～平成 30 年（2018 年）2 月）
- キエンザン省への専門家の派遣及びキエンザン省関係者の招聘による鮮度管理システム導入への理解促進（平成 30 年（2018 年）9 月及び令和元年（2019 年）12 月）
- JICA<sup>※</sup>「中小企業・SDGs ビジネス支援事業<sup>※</sup>」による漁獲段階における鮮度保持に係る実証事業の採択（平成 31 年（2019 年）1 月）

**実証事業の概要** キエンザン省において、保冷効果の高いレムアイス<sup>※</sup>と FRP 魚艙、水揚げ後の品質評価技術を組み合わせた「鮮度保持システム」を構築し、鮮度管理による水産物のロスの削減と高付加価値化を実証。

#### [課題と方向性]

- 実証事業については、新型コロナウイルス感染症<sup>※</sup>に伴う渡航制限によりスケジュールへの影響が懸念されるが、着実に実施されるよう支援することが必要
- 実証事業終了後の民間ベースでの事業展開に向けた支援が必要
- 物流保管、加工販売等のプロセスでの国等支援事業の活用に向けた支援が必要

### 2 プロジェクトの概要

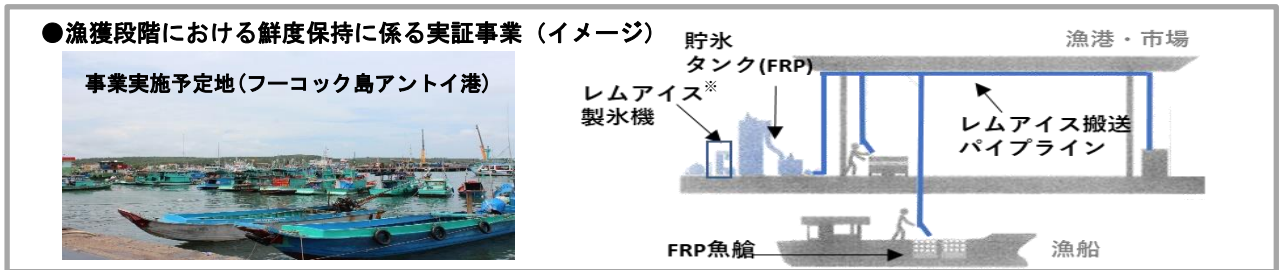
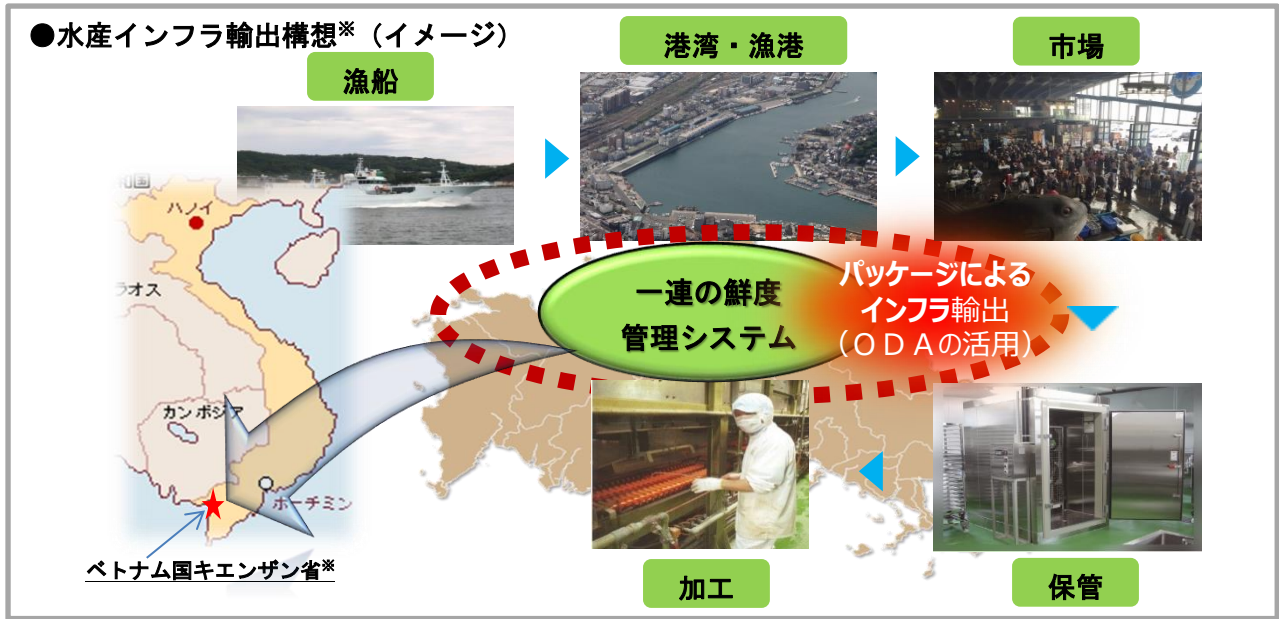
#### ベトナム国キエンザン省<sup>※</sup>政府との連携による水産バリューチェーン構築に向けた取組の推進

- 専門家派遣、キエンザン省関係者の招へい等  
（鮮度管理システムの導入の理解促進、現地に効果的に根付くための人材育成、案件の掘り起こし等）
- ベトナム政府、キエンザン省政府への継続的な働きかけの実施  
（鮮度管理システム導入の優先順位引上げ）

#### 県内企業のキエンザン省での事業展開に向けた支援

- 官民一体となった「水産インフラ輸出構想<sup>※</sup>研究会」の開催
- 実証事業の着実な実施及び終了後の民間ベースでの事業展開に向けた支援
- 国等支援事業（JICA<sup>※</sup>「中小企業・SDGs ビジネス支援事業<sup>※</sup>」等）の活用に向けた支援（物流保管、加工販売等のプロセスでの活用）

#### 水産インフラ輸出構想の推進状況を踏まえた他分野での展開に向けた検討・助言等



### 3 工程表

取組	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
ベトナム国キエンザン省※政府との連携による水産バリューチェーン構築に向けた取組の推進	<p>&lt;水産バリューチェーン構築に向けた総合的な支援&gt;</p> <p>・専門家派遣、キエンザン省関係者の招へい等 ・ベトナム政府、キエンザン省政府への継続的な働きかけの実施</p>		
県内企業のキエンザン省での事業展開に向けた支援	<p>&lt;「水産インフラ輸出構想※研究会」の開催 &gt;</p> <p>・官民一体となった「水産インフラ輸出構想研究会」の開催</p> <p>&lt;キエンザン省における事業展開を図る取組の支援&gt;</p> <p>・実証事業の着実な実施 ・実証事業終了後の民間ベースでの事業展開に向けた支援</p> <p>・国等支援事業(JICA※「中小企業・SDGsビジネス支援事業※」等)の活用に向けた支援</p>		

### 4 取組目標（指標）

指標名	現 状 値		令和5年度(2023年度)
	数値	基準年/年度	目標値
JICA※など国等の支援メニューを活用した事業件数(累計)	3件	令和元年度(2019年度)	8件